



TITLE:

資料照会:外国図書(大型コレクション)について THE HOUSE OF COMMONS  
PARLYAMENTARY PAPERS 1801-1900.  
Microfiche Edition, by Chadwyck-Healey  
Microform Publishing Services

AUTHOR(S):

---

CITATION:

資料照会:外国図書(大型コレクション)について THE HOUSE OF COMMONS PARLYAMENTARY PAPERS 1801-1900.  
Microfiche Edition, by Chadwyck-Healey Microform Publishing Services. 静脩 1985, 21(2): 17-18

ISSUE DATE:

1985-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36937>

RIGHT:

## 外国図書（大型コレクション）について

昭和58年度外国図書（大型コレクション）購入費にもとづき、下記の資料を購入し、法学部附属国際法政文献資料センターに蔵置しておりますので、御利用下さいますよう御案内いたします。

なお、この資料についての解説を執筆していただきましたので御利用の手引きとして紹介いたします。

### THE HOUSE OF COMMONS PARLIAMENTARY PAPERS 1801-1900.

Microfiche Edition, by Chadwyck-Healey

Microform Publishing Services

19世紀イギリス議会資料は近・現代の史料としては言うに及ばず、法律学、政治学、経済学などのあらゆる社会科学の分野の第一次資料として高い価値をもっている。それは議会文書には新しい法律をうみだす過程で生まれた種々の資料、即ち法案や立法化にあたってその社会的背景を調査した委員会の報告書、当時の著名な学者や政治家等による意見、証言、客観的状況を示す諸統計、証拠等々のいわゆる「生の資料」が含まれているからである。

わが『センター』は19世紀イギリス議会文書についてはすでに“TUP 1000 Volume Series of the British Parliamentary Papers, 1801-1899”を所蔵し、利用に供しているが、しかし、これに収められている文書の数全体は全体の2割足らずであり、利用者からの不満もしばしば聞かれた。これに対し今回受入れられた標記資料は19世紀に印刷された殆んどすべての下院文書を収録している。

Parliamentary Papers とは Sessional papers、即ち議会の会期別の議会文書のことで、議院内外から発生する議会提出文書・法案、議会委員会報告書、政府委員会報告書、外務省外交文書や省庁年次報告等々が含まれる。いわゆるブルーブックと通称されていたものがこれにあたる。19世紀イギリスにおいてはそれまでの国王・貴族・庶民による協調・均衡関係の上に成り立っていた統治システムが終りを告げ、庶民院、即ち下院の地位の上昇による議会を中心にした政治が展開されるよ

うになった。そして国家の重要問題のすべてが議会、とりわけ下院で討議され、政治、立法、外交上の文書の殆んどがそこに集中された。したがって下院文書は19世紀イギリスの政治や社会を理解する上で欠かすことのできない貴重な多くの情報を提供してくれるのである。とくに Select Committee を中心にした議会内の委員会文書は重要である。また19世紀後半から20世紀にかけて自由主義経済の発展・変化に伴って政府機能が増大し、「議会政治」から「内閣政治」へと政治システムが移行し、Royal Commission や Departmental Committee などの議会外の政府委員会の役割が大きくなっていくが、これらの委員会から報告される文書も非常に重要である。イギリス議会資料の中でとりわけ重要なこの政府文書はコマンドペーパーとして研究論文などでしばしば引用される。このように19世紀においてはすべての重要な議会・政府文書がParliamentary papersとして存在していたのである。

本コレクションは、英国通産省図書館所蔵の“House of Commons Parliamentary Papers (Bound Set) 1801-1900”の原本をもとにマイクロフィッシュ化したもので、いわば19世紀下院文書総集成ともいうべき資料である。編集にあたっては下院図書館等の所蔵の原本とも照合し、加えてこれら原本に漏れていた文書も新たに収録されたといわれている。また House of Lords Sessional Bound Set に入っている上院文書のうち19

世紀議会文書としてどうしても欠かすことのできないもの、83点が付け加えられた。編集陣には前記「IUP 版」の作成に携わった D. Marshall-say 氏等が加わっている。その数、文書数にして約80,000点、4,200,000頁 (46,183 Microfiche) にのぼる膨大な資料集成である。

『センター』ではすでに「18世紀下院文書集成」“The Scholarly Resources Edition of the House of Commons Sessional Papers of the

Eighteenth Century”, 及び「20世紀政府 (議会) 出版物」“The Controller’s Library Collection of H. M. S. O. Government Publications 1922—1977 (+)” を所蔵しているが、これらに本コレクションが加わることによってイギリス議会資料の蔵書については益々充実してきたと言える。

(法学部附属国際法政文献資料センター 竹島武郎)

## 展 示 会 の 開 催

昨年4月に開館以来、当館において開催した展示会は次のとおりである。

### 〔1〕 ユネスコ出版物展示会

期 間 昭和59年6月6日(水)～6月12日(火)

会 場 附属図書館展示ホール

主 催 京都大学

ユネスコ

後 援 文部省

日本ユネスコ国内委員会

協 賛 日本ユネスコ協会連盟ほか4団体

展示品 ユネスコの最近の出版物約500点

業、その他。

### (2) 地域・国名と冊数

・アジア地域11カ国 約4,600冊

・アフリカ地域7カ国 約450冊

・西ヨーロッパ地域13カ国 約4,800冊

・U S S R・東ヨーロッパ5カ国約3,100冊

・北米地域2カ国 約500冊

・中南米地域7カ国 約1,550冊

・オセアニア地域2カ国 約200冊

・国際機関4機関 約300冊

計 約15,500冊

この展示会はユネスコの事業と活動に対する一般の理解と認識を深める広報活動の一環として、ユネスコから出版された書籍、定期刊行物等が展示された。期間中約1,500人の参観者があった。

### 〔2〕 世界の本展

期 間 昭和59年10月1日(月)～10月5日(金)

会 場 附属図書館展示ホール

共同研究室(1)、(2)ほか

主 催 京都大学附属図書館

社団法人出版文化国際交流会

後 援 外務省

文部省

展示品 世界各国の最近の学術書約15,000冊

#### (1) 主題

総記、哲学、宗教、言語、文学、歴史、地理、社会科学、自然科学、医学、工学、産

国際的なブック・フェアは、1949年に西独のフランクフルトで開かれた国際図書展 (正しくはフランクフルト書籍見本市) が最初のものであるが、現在では、規模の大小はあるものの約30カ国の主要都市で開催され、各国出版界の交流の窓口になっている。端的にいうならば商品としての本の国際間流通を促進する催しであるといえる。

今回、当館が主催した「世界の本展」は、このような性格・内容のものとは異なり、研究者及び学生をはじめ広く一般の方々に直接、出版物を呈示して外国の文化を出版物を通して紹介することを趣旨とした。特に平素なじみの少ない国々の学術書も多く、諸外国における学術研究の動向と学術出版の現状を知る機会となることを期待したもので、わが国の大学において開催した最初の大規模な「世界の本展」であった。期間中、2,000人を超える多くの方々に御高覧いただき、有意義に